

ご存じですか！文化財

77

「木額 澹界心殿」

市指定有形文化財 昭和52年3月16日



問合せ
生涯学習課
(☎0480・62・1223)



所在地 麦倉84-1

加須市麦倉の慈眼寺には、市指定の文化財が3点ありますが、今回は、「木額 澹界心殿」を紹介します。

木額は、縦47・5cm、横152・0cm、厚さ2・5cm、けやき材で本堂の外陣正面に掲げられています。「澹」は「法」の古体字です。

「法界」とは仏道・仏門という意味で、「心殿」とはその聖なる領域、という意味だと思われまます。格調高い隸書で保存状態も良好であり、美術的に見ても価値が高いと言われています。

揮毫は小山悟岡。悟岡は古河藩ゆかりの※小山霞外の子で、女流画家として名高い奥原晴湖の書の師匠でもあります。この木額は、当時の大庄屋小室惣助が嘉永年間(1848〜54)に寄進したものと伝えられています。

※江戸時代後期の書家で、顕彰碑が多くの弟子たちによって東京の亀戸天神の境内に建てられています。



紹介者 渡辺 章さん(向古河)

3月15日号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

【訂正箇所】 (誤)説教節

(正)説経節